

データ作成ガイド目次

データ作成時の 注意点

テンプレートについて	P1
塗り足しについて	P1
溶着加工や抜き加工がある商品の注意	P2
文字のアウトラインについて	P2

白版の 作り方について

白版とは	P3
白版作成時の注意点	P4
白版の作り方 (Illustrator 編)	P6
白版の作り方 (Photoshop 編)	P10
白版の確認方法	P18

入稿時の 注意点

入稿データについて	P20
バージョンについて	P20

オリジナルクリアファイル & ノベルティ



by 三和綜合印刷

データ作成時の注意点

テンプレートについて

データ作成の際は必ず**弊社のテンプレート**をダウンロードして使用してください。

クリアファイルなど同名の商品でも製作会社によって仕様が異なるため、他社のテンプレートを使用した場合、加工の位置がズレる可能性があります。

塗り足しについて

●塗り足しとは

印刷用データを作成するにあたり、仕上がりサイズより更に外側に 3mm、絵柄をはみ出させておく必要があります。

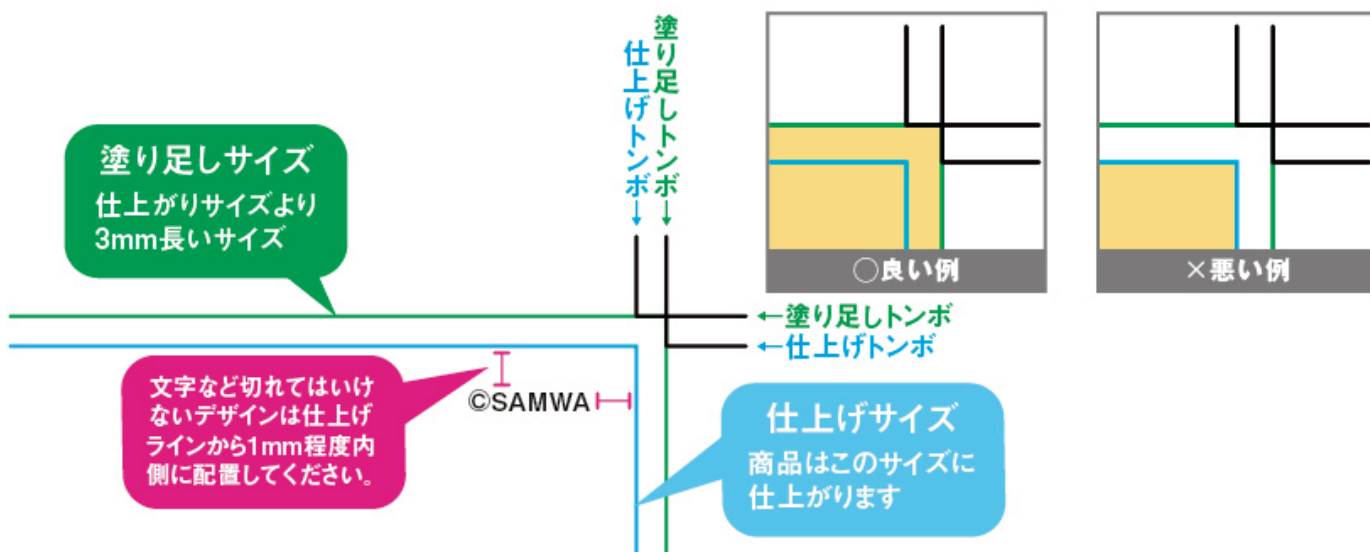
そのはみ出させた部分を「塗り足し」と呼びます。

●塗り足しが必要な理由

加工の仕様上、必ずズレが発生します。

もし塗り足しがない状態でズレが発生した場合、絵柄が欠けてしまいます。

またエラインギリギリで収まっている柄も加工時のズレで欠けてしまう可能性がありますので欠けてはいけない柄はなるべく余裕を持って配置してください。



オリジナルクリアファイル & ノベルティ

サンプリ

ラボ
LAB.

by 三和総合印刷

溶着加工や抜き加工がある商品の注意点

溶着部や抜き加工部に文字や画像が入ると途切れたり潰れて読みにくくなります。
加工部分にかからないよう、デザインやデータ確認の際はご注意ください。
また、加工位置は多少の誤差が出ますのでギリギリに配置しないようにしてください。



抜き部分に文字や絵柄がかからないよう
ご注意ください。



溶着部分に文字や絵柄がかからないよう
ご注意ください。

文字のアウトライン化について

デザイン配置完了後、書体データ（フォント）をアウトライン化してください。
アウトライン化をしないと別のパソコンで開いた際、使用しているフォントがインストールされていない場合、別の書体に置き換わってしまいます。
アウトライン処理をされていない場合は印刷に進行できないため、修正・再入稿して頂く事になります。
※アウトライン化した場合、再度書体データに戻すことが出来ません。アウトライン化前のデータを別で保存しておくことをオススメします。

アウトライン化されていない
（書体データの状態）



GOOD★DOG

アウトライン化されてる
（パスデータ化した状態）



GOOD★DOG

オリジナルクリアファイル & ノベルティ



by 三和総合印刷

白版の作り方について

白版とは

クリアファイル等の透明な素材を使用する商品は、カラー印刷だけでは色が透けてしまうため「白く見せたい部分」や「透けさせたくない部分」には白色のインキを印刷する必要があります。部分的に白色を印刷する場合には、白版の作成が必要です。“白引き”や“白押さえ”や“白打ち”等とも呼ばれていますが、いずれも白を印刷する部分を指す言葉です。



●白版の作成例



オリジナルクリアファイル & ノベルティ

サンプリ

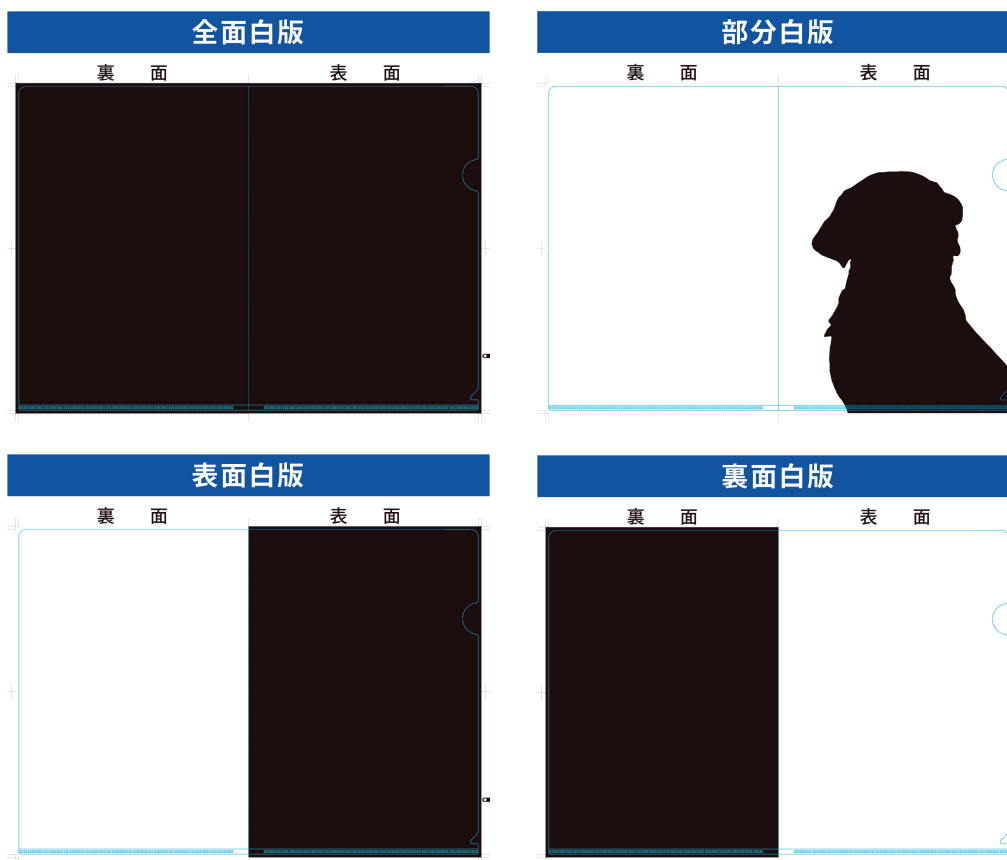
ラボ
LAB.

by 三和総合印刷

白版作成時の注意点

■白を引きたい部分に K100% のパスを作成してください。

白版を白色のデータで作成すると画面上では見えなくなってしまうので 白を引きたい部分は K100%(黒)でデータの作成をお願いします。



■必ず絵柄とは別レイヤーで作成してください

絵柄と白版を同じレイヤーで作成しますと混在してしまいトラブルの原因となります。白版は必ず白版単独のレイヤーで作成してください。

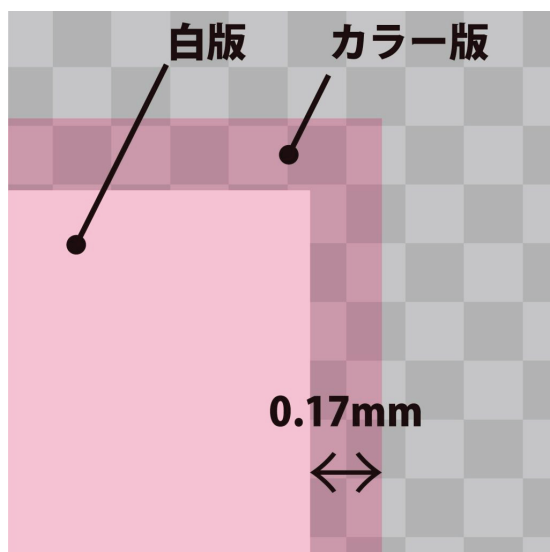


オリジナルクリアファイル & ノベルティ

■印刷の仕様上、白版には必ず細らせが必要です

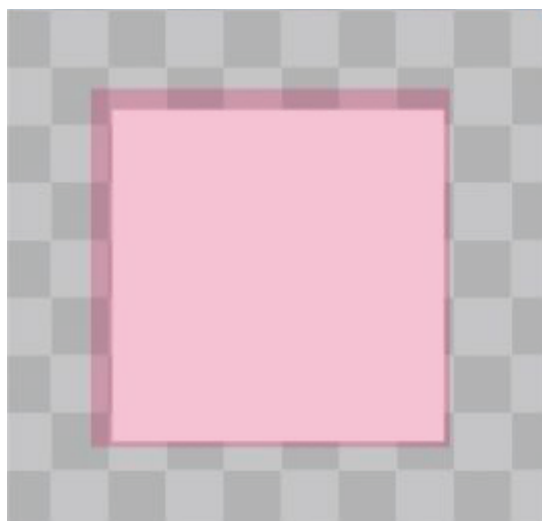
材料の性質上、印刷時に若干の伸縮が発生します。そのため、絵柄と同じサイズで印刷すると伸縮の影響で白版がズレてはみ出してしまい、キレイな仕上がりになりません。これを防ぐため、絵柄より約 0.17mm 縮小して作成します。

※ただし絵柄に白い縁取りが付く場合や、白色のみの絵柄には細らせは不要です



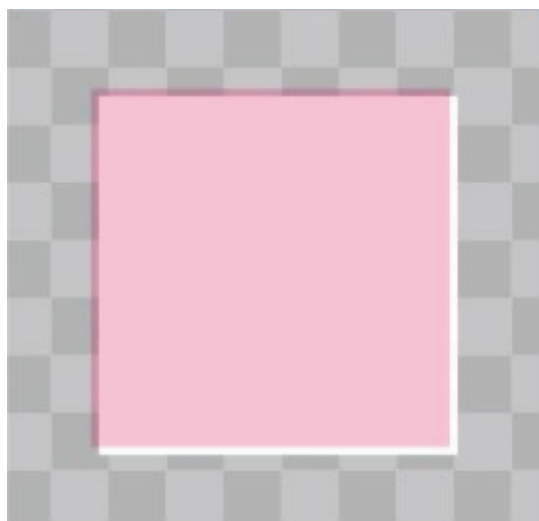
例：カラー版より約 0.1mm ズれた状態

白版細らせていた場合



細らせてしているので白が絵柄の外側に飛び出しません。

白版細らせていない場合



版ズレした分、そのまま白版が絵柄の外側に飛び出してしまいます。



白版の作り方 Illustrator 編

●パスから白版を作成する場合

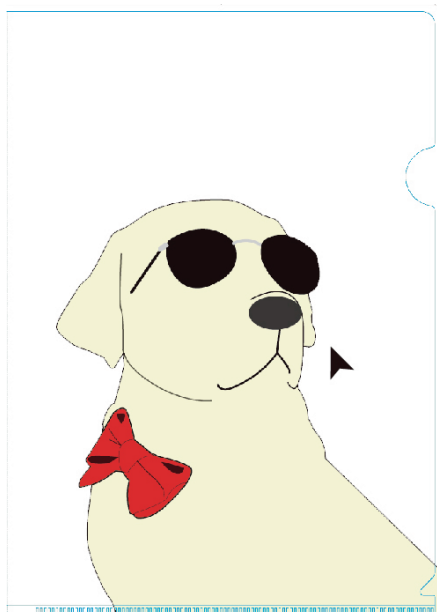
パスで絵柄を作成している場合は、そのまま白版データに流用することが出来ます。

※画像データで絵柄を作成している場合は「ペンツールで白版を作成する」か「白版の作り方 photoshop 編」をご参照ください。

①白版レイヤーにパスをコピーする

パスを選択し、メニューの [編集] → [コピー] を選択します。

コピーしたパスを白版レイヤーに [編集] → [前面へペースト] で貼り付けます。

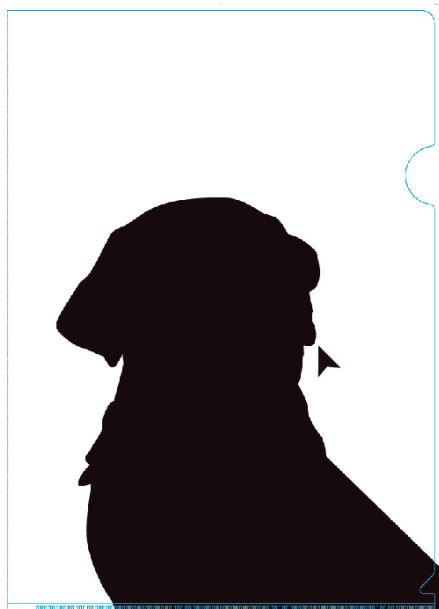


②塗りつぶす

貼り付けたパスの塗りを K(黒)100% に変更します。

複数のパスで出来ている場合は [パスファインダー]→[合体] で一つのパスにします。

パスに線が付いている場合は [オブジェクト]→[パス]→[パスのアウトライン] で線を塗りに変換し [パスファインダー]→[合体] で一つのパスにします。



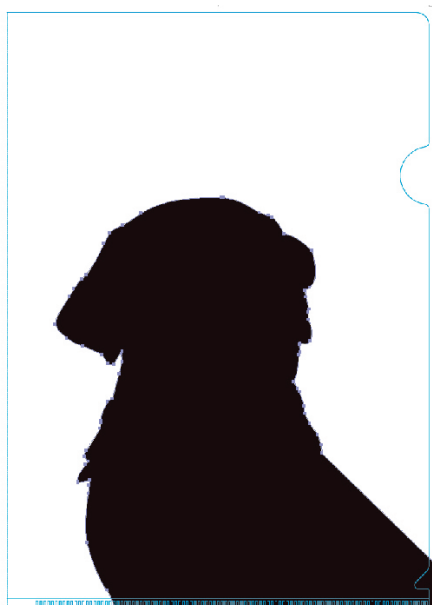
③線をつけて細らせる

塗りつぶしたパスに 1pt の白い線を追加し

線端を丸型線端、角の形状をラウンド結合、線の位置を線を中央に揃えるを選択します。

これで細らせることができました。

他の部分がある場合は同様の作業を行います。



●ペンツールで白版を作成する場合

画像データの白版を作成する際はこちらの方法で作成してください。

また、絵柄のパスデータが複雑で、思うように作成できない場合はこちらの方法で作成してください

①白版レイヤーを選択する

白版を作成する前に白版レイヤーを選択しておきます。

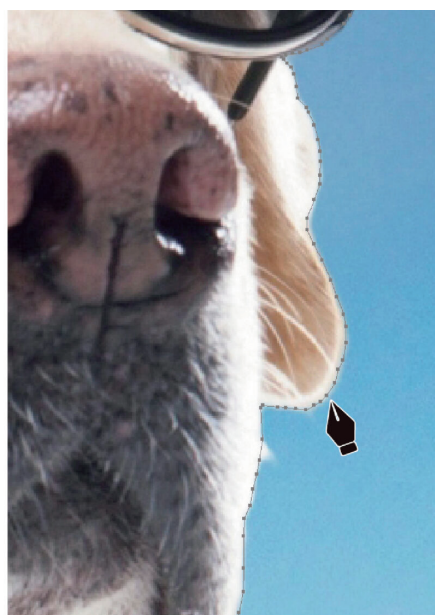
このとき絵柄のレイヤーにロックをかけておくと安全に作業が出来ます。



②ペンツールでパスを作成する

ペンツールを選択し、白版を作成したい絵柄に沿ってアンカーポイント（点）を打ち込みます。

そのまま絵柄に沿って一周し、一番始めに打ち込んだアンカーポイントをクリックすることでパスが完成します。



ペンツールを選択

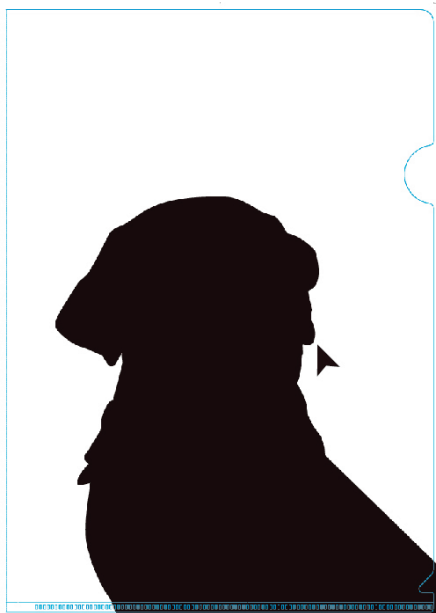
オリジナルクリアファイル & ノベルティ

サンプリ ラボ LAB.

by 三和綜合印刷

③塗りつぶす

作成したパスの塗りをK(黒)100%に変更します。



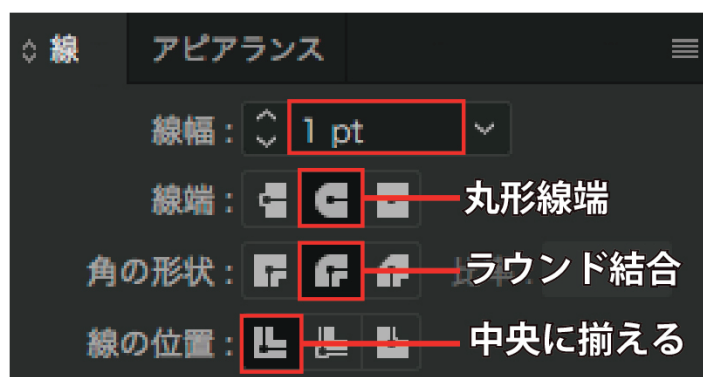
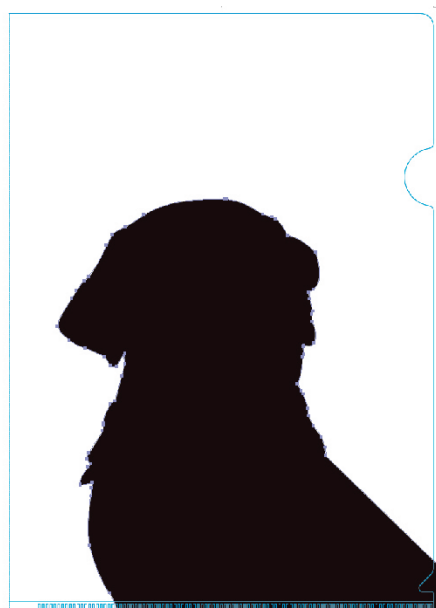
④線をつけて細らせる

塗りつぶしたパスに 1pt の白い線を追加し

線端を丸型線端、角の形状をラウンド結合、線の位置を線を中央に揃えるを選択します。

これで細らせることができました。

他の部分がある場合は同様の作業を行います。



オリジナルクリアファイル & ノベルティ

サンプリ

ラボ
LAB.

by 三和総合印刷



白版の作り方 Photoshop 編

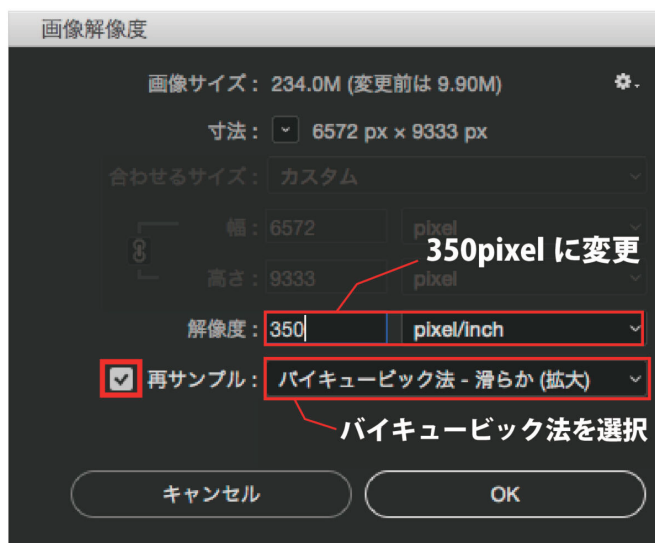
●切り抜きされた画像から白版を作成する場合

切り抜きされた画像から白版を作る際はこちらの方法をお試しください。

①解像度を 350 にする

まずは仕上がりを滑らかにするため解像度を変更します。

画像を開き [イメージ]→[画像解像度] から画像の解像度を 350pixel/inch に変更します。
この際に下部の [画像の再サンプル] にチェックを入れ [バイキュービック法] を選択します。



オリジナルクリアファイル & ノベルティ

サンプリ



by 三和総合印刷

②白版レイヤーを作成

まず、白版用のレイヤーを作成します。

上部メニューの「レイヤー」から「レイヤーの複製」を選択します。



③塗りつぶす

次に画像を塗りつぶします。切り抜きされた画像の場合は以下の方法でキレイに範囲を選択できます。

上部メニューの「レイヤー」から「レイヤースタイル」→「カラーオーバーレイ」を選択します。

「カラーオーバーレイ」の項目が開くのでカラー設定をクリック。

カラーピッカーが開くのでここで CMYK をそれぞれ 100% に変更して OK をクリックします。

これで塗りつぶしが出来ました。



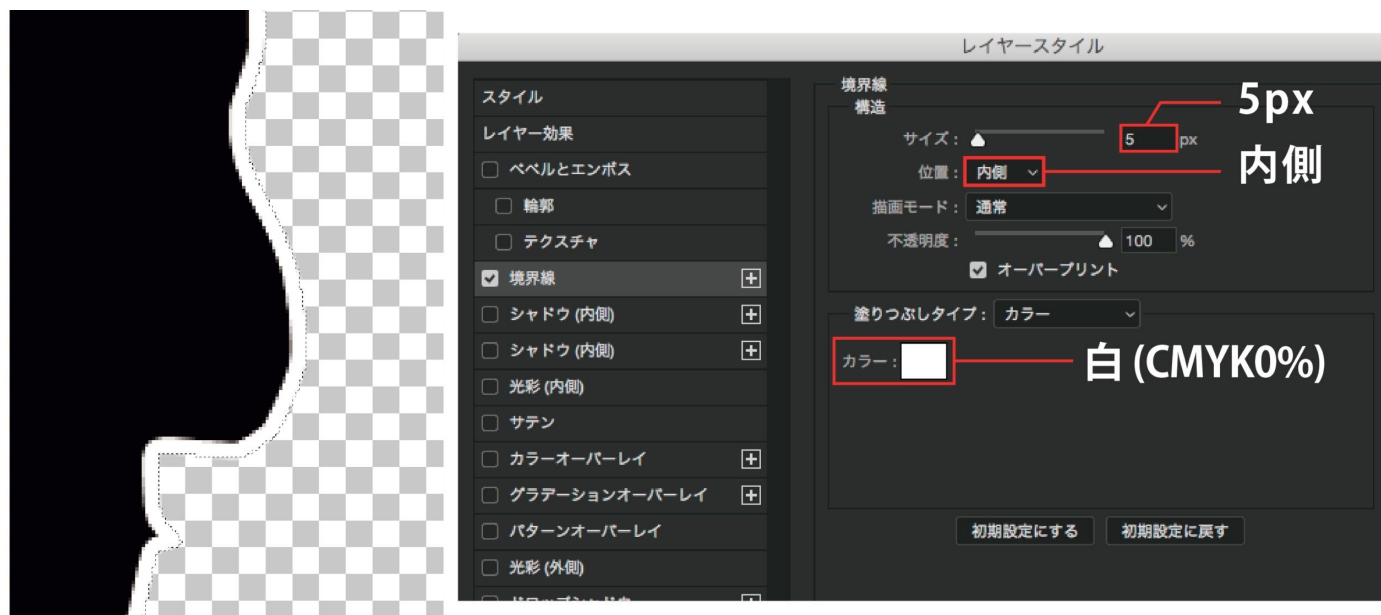
④細らせをする

最後に塗りつぶした範囲を細らせます。

上部メニューの [レイヤー] から [レイヤースタイル]→[境界線] を選択。

[レイヤースタイル] の境界線の項目が開くので

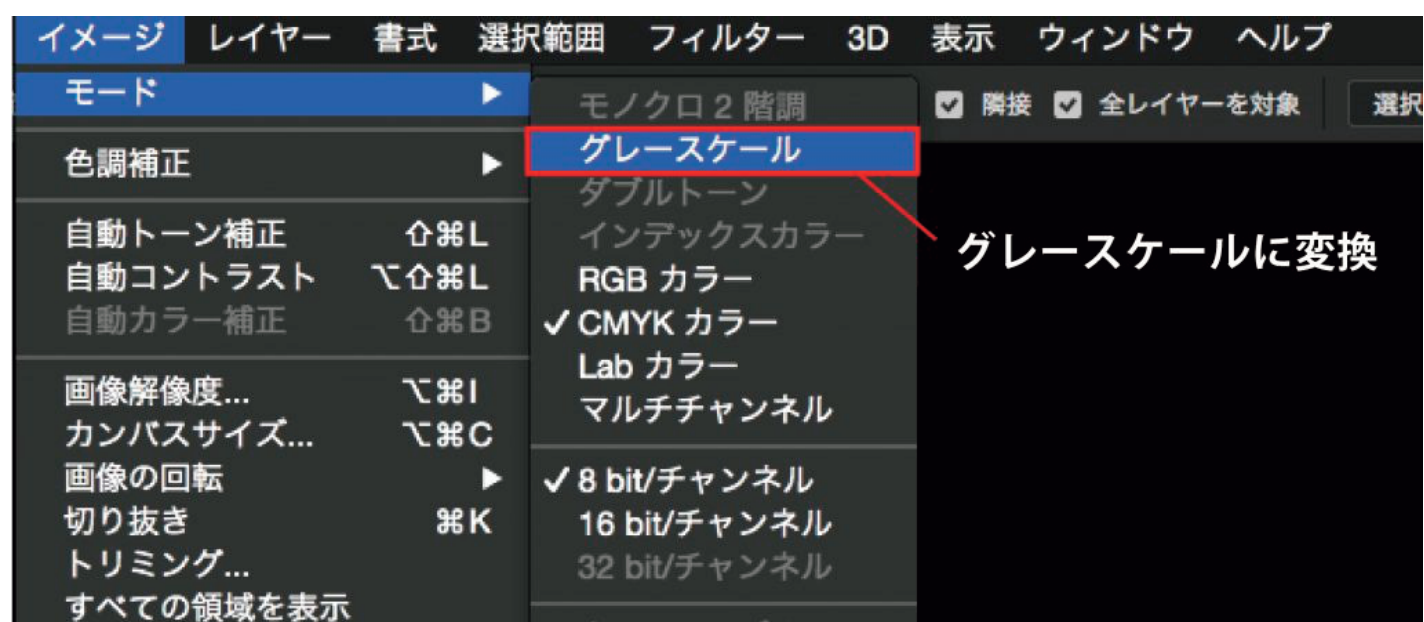
サイズを 5px 位置を内側 カラーを白 (CMYK0%) に設定し OK をクリックします。



⑤グレースケールに変換する

書き出しをする前に画像をグレースケールに変換します。

上部メニューの [イメージ] から [モード]→[グレースケール] を選択します。

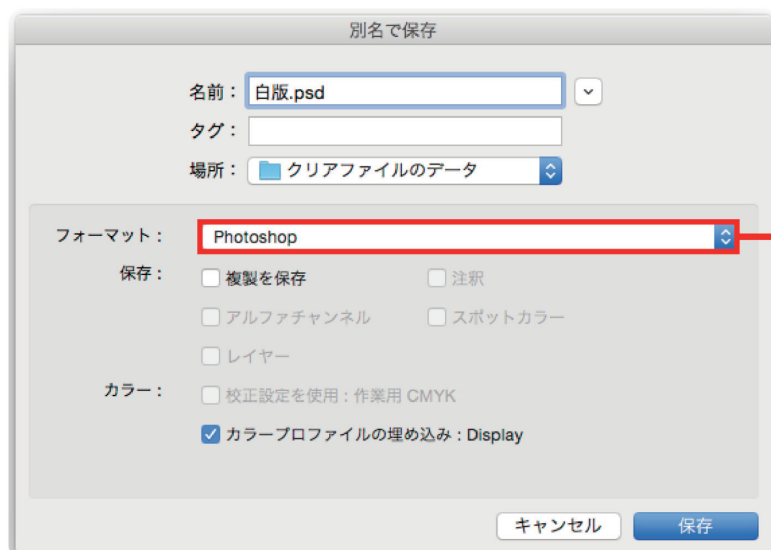


④細らせをする

最後に作成した白版を書き出して保存します。

上部メニューの【ファイル】から【別名で保存】を選択します。。

ファイルの形式は Photoshop 形式 (psd) で保存してください。



**Photoshop 形式 (psd)
で保存**

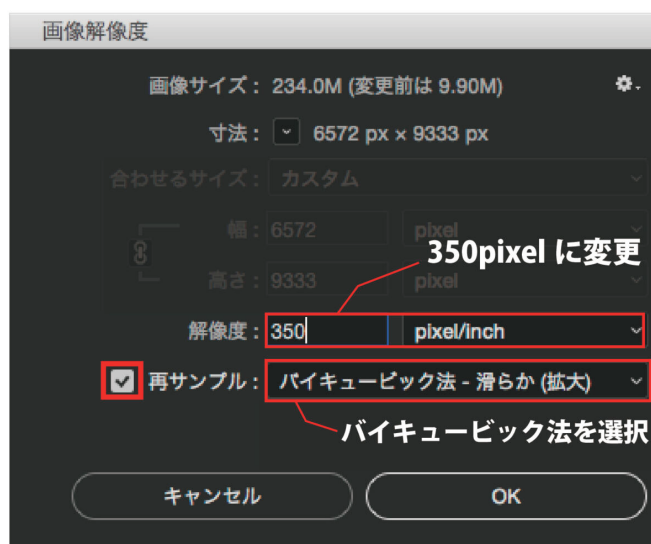
●パスから白版を作成する場合

写真や一枚物のイラストから白版を作る際はこちらの方法をお試しください。

①解像度を 350 にする

白版を作成する前に白版レイヤーを選択しておきます。

このとき絵柄のレイヤーにロックをかけておくと安全に作業ができます。



②パスを作成

ツールボックスからペンツールを選択し、白版を作成したい絵柄に沿ってアンカーポイント(点)を打ち込みます。そのまま絵柄に沿って一周し、一番始めに打ち込んだアンカーポイントをクリックすることでパスが完成します。

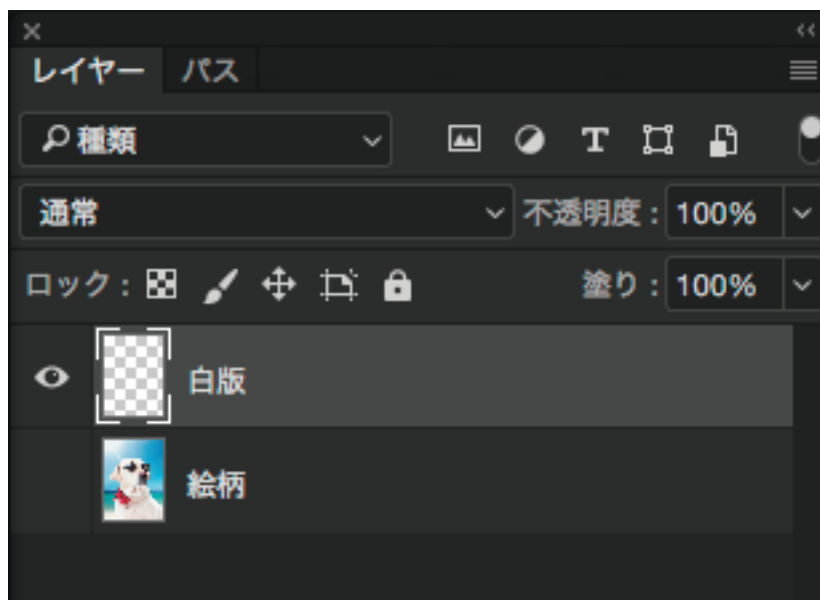


ペンツールを選択

③白版レイヤーを作成する

次に白版用のレイヤーを作成します。

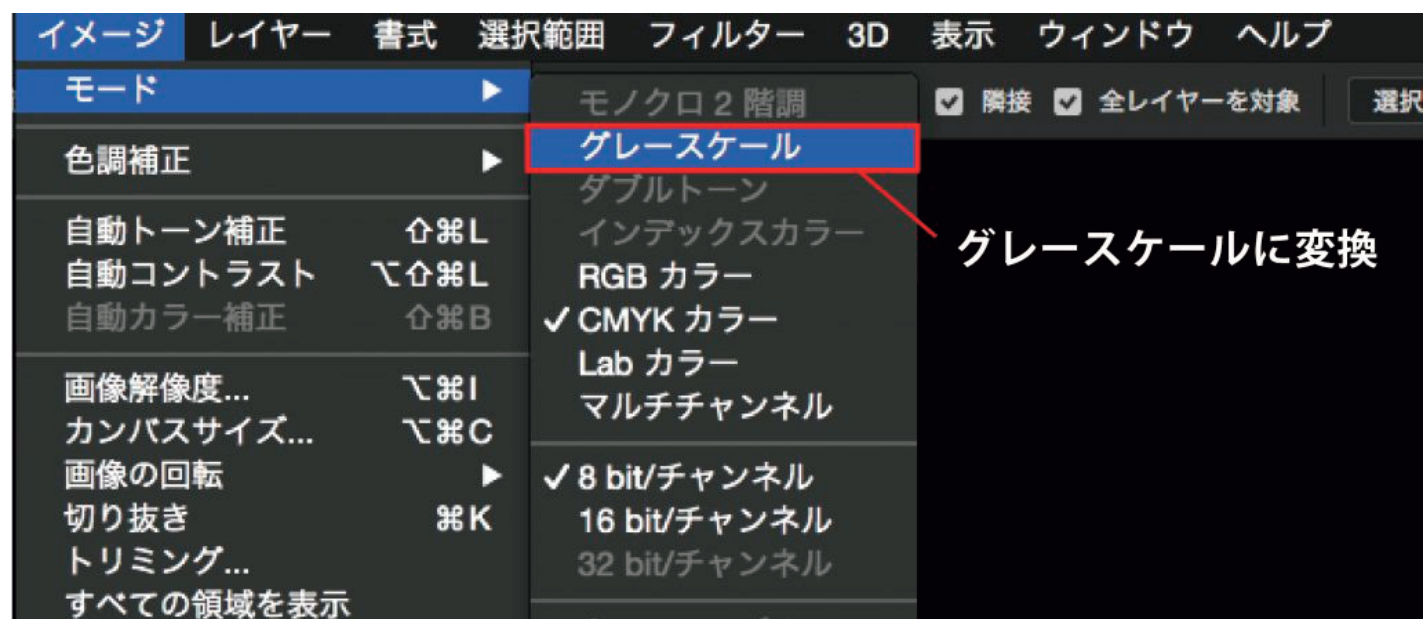
上部メニューの「レイヤー」から「新規」を選択します。



④選択範囲を作成し塗りつぶす

次に作成したパスから選択範囲を作成し塗りつぶします。

「パス」のウィンドウから作成したパスを選び右クリックし「パスの塗りつぶし」を選択します。



塗りつぶしのウィンドウが開くので【内容】の項目から【カラー】を選択します。
カラーピッカーが開くのでここで CMYK をそれぞれ 100% に変更して OK をクリックします。

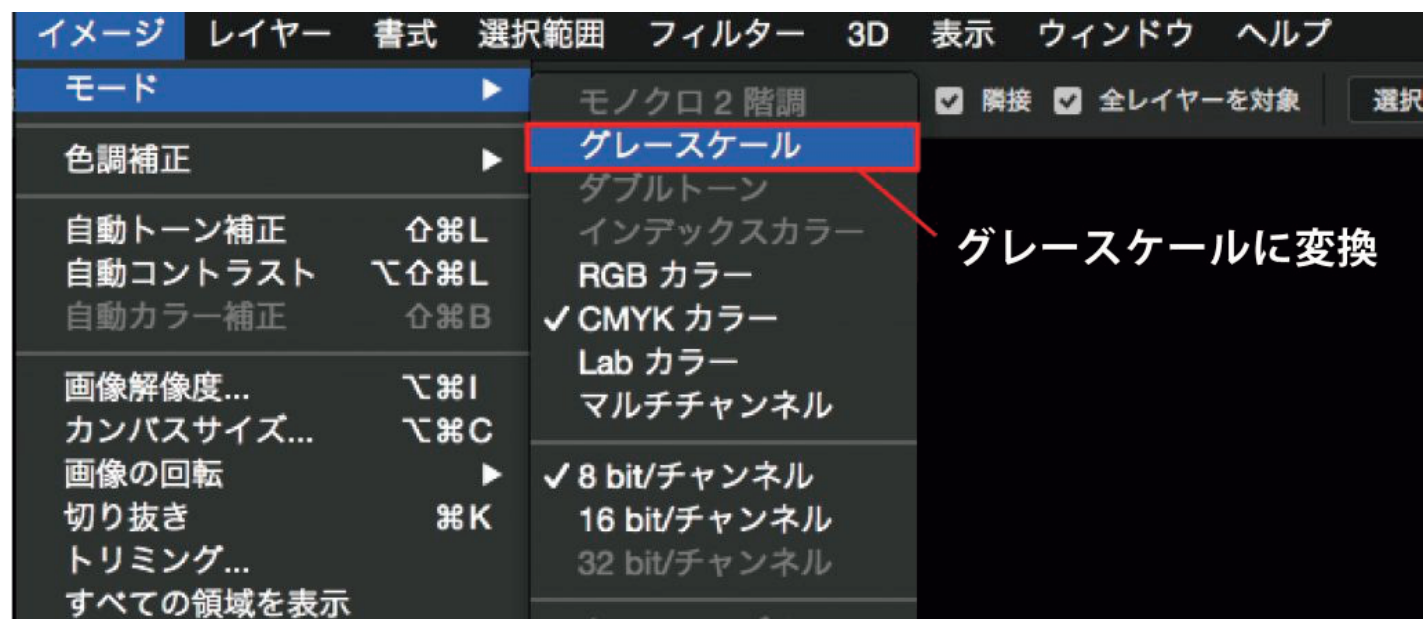


⑤ 細らせをする

最後に塗りつぶした範囲を細らせます。

上部メニューの【レイヤー】から【レイヤースタイル】→【境界線】を選択。

【レイヤースタイル】の境界線の項目が開くのでサイズを 5px 位置を内側 カラーを白 (CMYK0%) に設定し OK をクリックします。これで細らせができました。



オリジナルクリアファイル & ノベルティ

サンプリ

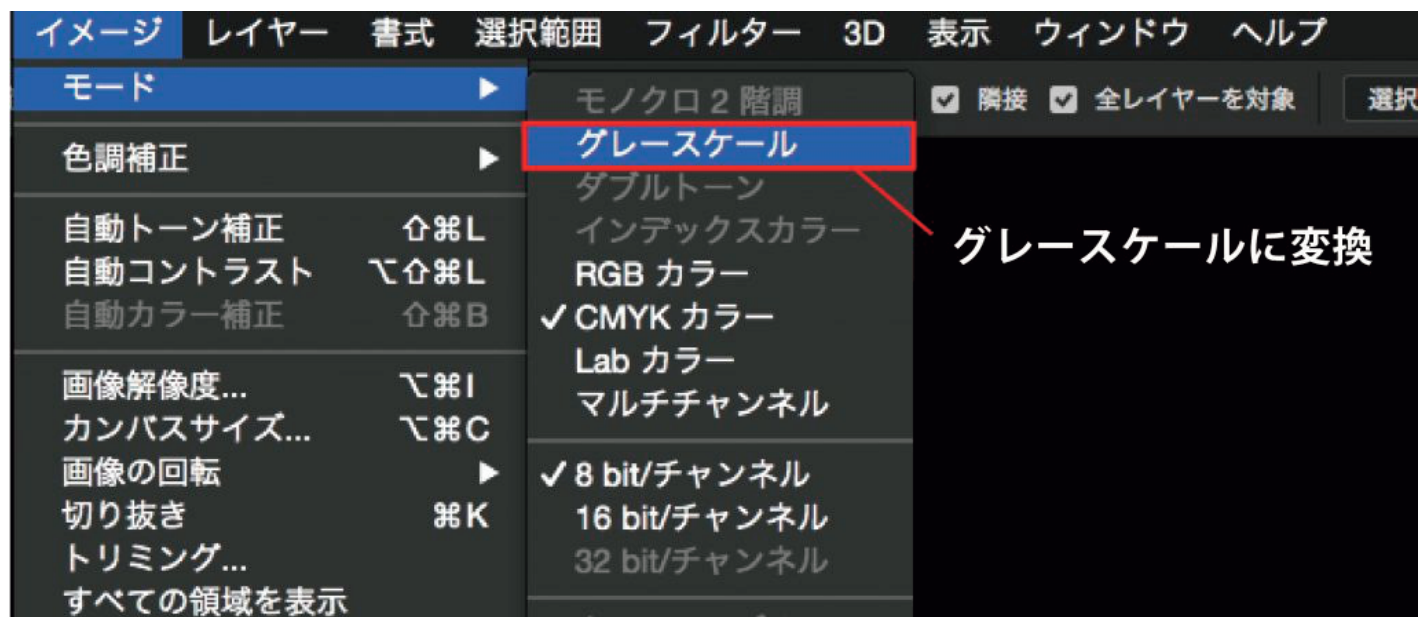
by 三和総合印刷



⑥グレースケールに変換する

上部メニューの [イメージ] から [モード]→[グレースケール] を選択。

画像をグレースケールに変換します。

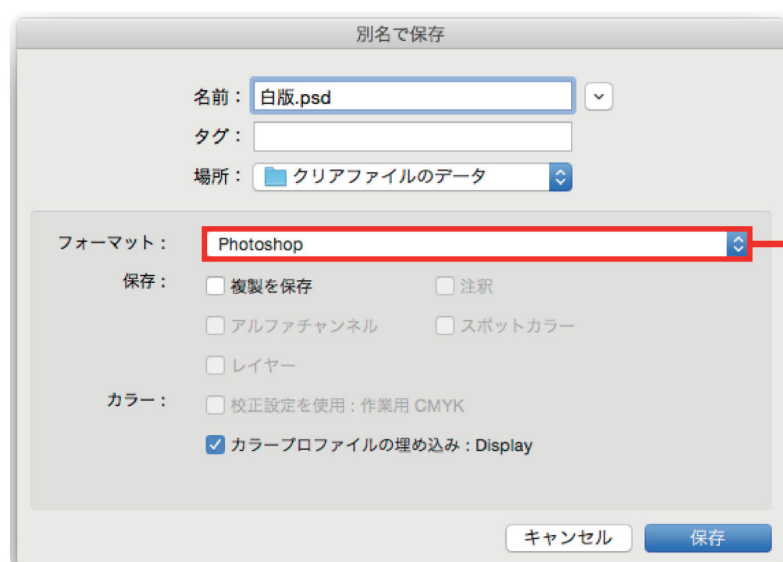


⑦白版を書き出して保存する

最後に作成した白版を書き出して保存します。

上部メニューの [ファイル] から [別名で保存] を選択。

ファイルの形式は Photoshop 形式 (psd) で保存してください。



Photoshop 形式 (psd)
で保存

オリジナルクリアファイル & ノベルティ

サンプリ

by 三和総合印刷



白版の確認方法

上記の方法で白版を作成できましたら正しく作成できているか、ご入稿前に今一度ご確認をお願いいたします。

①絵柄と白版を両方表示させる。

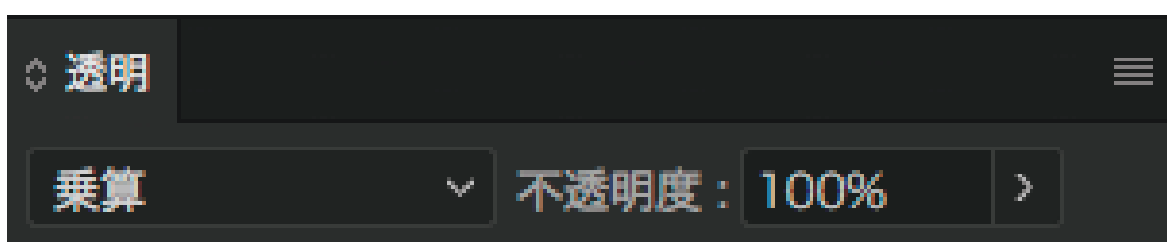
絵柄に対して細らせが出来ているかを確認するため
絵柄と白版を表示し重ね合わせます。



②白版のパス、もしくは画像データに乗算をかける

作成した白版に乗算をかけます。

これで細らせをした際につけた白い線が透け、下の絵柄が透けて見えます。



③約 0.17mm 細らせが出来ているか確認する

拡大した際に約 0.17mm の隙間ができていれば正しく作成出来ています。一部分だけではなく全体で細らせが出来ているかご確認ください。



オリジナルクリアファイル & ノベルティ

サンプリ ラボ LAB.

by 三和総合印刷

入稿時の注意点

入稿データについて

「最終データ」と「使用した画像データ」と「確認用 PDF」をひとつのフォルダーにまとめます。
フォルダーを圧縮して ZIP ファイルにします。
これで入稿データの完成です

※使用した画像データの入れ忘れによる再入稿が多発しています。
納期に影響が出る場合もありますので、入稿時に必ずご確認ください。



バージョンについて

保存形式は「ai 形式」を推奨しております。

- バージョンはお使いの Illustrator のバージョン (一番新しいバージョン) を選択
- オプションのチェックは全て外してください

